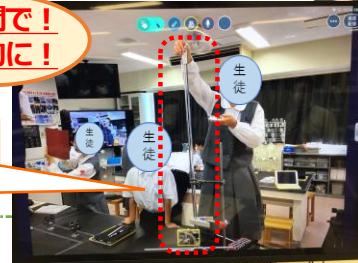


実践例：中学校理科



ICT活用の場面及び機能とよさをチェック!

短時間で! 効率的に!



1. 前時の実験の事象を基に、課題を見いだす。

課題：物質は水にどのように溶けていくのだろうか。

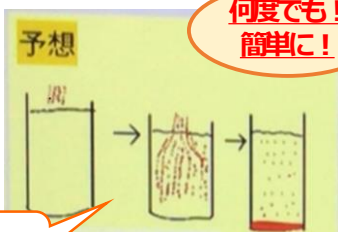
□ 提示・配布機能

前時の実験の映像を提示し、濃度が均一になった事象から課題を見いださせる。

2. 課題に対する予想をしたり、仮説を立てたりする。

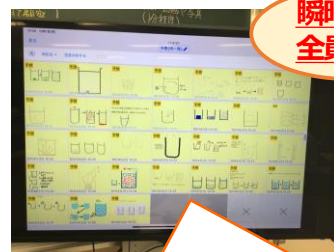
□ 思考の補助機能

□ 一覧表示機能



何度でも! 簡単に!

図やモデル等を用いて、予想や仮説を表現させる。



瞬時に! 全員の!

予想や仮説を共有し、考えを比較・分類をさせる。

3. 実験の計画を立てる。

4. 実験を行い、結果を表現する。

□ 撮影・録音・再生機能

□ 共同編集機能



すぐに! その場で!

繰り返し行うことが難しい実験の様子の写真や動画を記録させる。



複数で! 同時に!

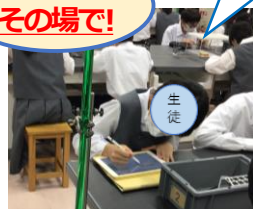
実験データを共有し、結果を表現させる。

5. 結果を基に考察を行い結論を導く。
考察(個) → 【議論】 → 結論(集団) → (個)

□ 撮影・録音・再生機能

□ 一覧表示機能

すぐに! その場で!



映像を再生して、事実を確認しながら考察をさせる。

共有した個の考察を、科学的な根拠に基づいて議論し、より妥当なものにさせる。



瞬時に! 全員の!

考察(個)

議論

6. 学級全体で結論の共有をし、学習の振り返りをする。

□ データの保存・提出機能

いつでも! 手軽に!



【生徒の結論の発表より】
粒子モデルを用いて考えると、物質は水とくっついたり、隙間に入り込んだりして、全体に広がっていくと考えられる。

学習の振り返りを入力・提出させる。